

第10回 安全性向上有識者会議 議事概要

1. 開催日

2025 年 6 月 17 日(火)15:00～17:00

2. 出席者

中村光座長、高野研一座長代行、池田桂子委員、指田朝久委員、鈴木和幸委員、村田一郎委員
中日本高速道路㈱代表取締役社長、代表取締役建設企画本部長、取締役保全企画本部長、
取締役事業開発・推進本部長、取締役経営企画本部長、取締役総務本部長、執行役員技術本部長

3. 議 事

- (1)「安全性向上への不断の取組み－「5つの取組み方針」に基づく取組み(2024 年度)－」の報告
- (2)広域的な ETC システム障害の発生について

4. 議事概要(委員意見要旨)

(1)「安全性向上への不断の取組み－「5つの取組み方針」に基づく取組み(2024 年度)－」の報告

①「2024 年度における安全性向上の取組み状況・成果等」について

- 全般的に基本的枠組みが構築され、データに基づく分析と対応がなされ、社員の参加意識も高いこと、また社内のみならず工事受注者などへ実施している安全講話などにより、NEXCO 中日本グループ外の関係者と風通しのよい関係を作ることは評価できる。
- リスク感度を高めることが重要である。日常的なことの中にも潜在的リスクは必ずあると思う。リスクに対する感度を上げ、様々な潜在的リスクを評価する取組みを継続していただきたい。
- マニュアル・ルールの大切さを現場の方に納得していただく、腹落ちしていただくことが大切である。長年のノウハウの蓄積がマニュアルだと認識し、マニュアルを徹底していただきたい。
- 事故を防止するためには「発生防止」「早期発見」「影響防止」の順序が大切である。対策を検討する際にはこの順序をしっかりと取り入れていただきたい。
- 残念ながら工事中死亡事故が 2 件発生しているが、事故防止に向けた取組みを続けていくことが致命的な事故を防ぐことにつながっていると認識し、地道な取組みを引き続き継続していただきたい。
- 具体的な工事中事故防止対策への助言
 - ・ 作業員の体調管理の徹底、交通規制材設置撤去の機械化や運転手に不測の事態が発生した場合に自動停止する建設機械などの開発。
- 逆走防止対策への助言
 - ・ 高齢者の動体視力の低下や注意喚起標識等の見やすさも考慮した更なる対策。
 - ・ フェールセーフを意識した対策や個人の判断に頼らない物理的な更なる対策。

②「2025 年度以降の取組みにおいて留意すべき事項(今後の取組みへのアドバイス)」について

【安全を最優先とする企業文化の醸成】

- NEXCO 中日本の安全への取組みは、日本でもトップクラスであると思う。無力感にとらわれることなく、自律的に課題を見つける意識をもって安全性向上の取組みを継続していただきたい。
- 「二度とこのような事故を起こしてはならない」との反省と決意で安全性向上に取り組んでいるが、笹子トンネル天井板崩落事故の原因や背景を正しく理解し、同様の原因、背景で発生した事故や、事故で得られた反省と教訓が守られずに発生した事故は「このような事故」であるとの共通認識を全社員で共有し、どのような小さな事故でも、これら共通認識に基づく対応が重要である。

【安全活動の推進】

- メンテナンスに関する外部発信がまだまだ少ない。携わっている社員の励みにもなることから、メンテナンスに関する情報を定例記者会見等で発信していただきたい。
- NEXCO 中日本の安全性向上の取組みは、他社と比べてもしっかりとやっている。一方、ホームページでの取組みの発信が分かりづらいので、現在の取組みやこれからの取組みを分かりやすく掲載するなど、広報面でも考えていただきたい。

【安全を支える人財の育成】

- 安全啓発研修の継続は大切。一巡した次年度以降の研修方針も報告していただきたい。

【道路構造物等の経年劣化や潜在的リスクに対応した業務プロセスの継続的改善】

- 安全対策については、フェールセーフの視点で見直しを行い、その通り実行されているか、リーダーは部下に考えさせるよう徹底していただきたい。
- 「マニュアル」は不断の努力の成果だということを、現場の人の感情に訴えていただきたい。また、標準を守ることの大切さを現場の人に伝えていただきたい。
- 構造物の補修に関する目標設定は、さらに高い目標である予防保全に向けての目標を検討いただきたい。

【安全性向上に向けた着実かつ効率的な事業の推進】

- 高齢者や海外の方など多様なお客さまへの対応を行っているが、危険な箇所でこそ言語の問題を超えた対応が必要。また、危険な運転をする人がいることも踏まえたうえで、全体的な安心感を高める取り組みを続けていただきたい。
- 南海トラフ地震、富士山噴火、首都圏直下型地震の防災対策について、政府も含め新たな取組みが進んでいくと思われるので、状況を確認し自社の対策に組み入れていただきたい。

(2)広域的な ETC システム障害の発生について

4 月 6 日(日)の 0 時半頃から NEXCO 中日本管内の一部の料金所において発生した、広域的な ETC システム障害について概要を説明。

以 上